

1 市独自の新型コロナウイルス感染症に対する支援 第3弾

子育て世帯や事業者への支援、インターネット環境整備のほか、必要備品の購入や施設の改修等、15の追加支援を9月定例会に上程。その中でも、特に目玉となる3つの支援策を紹介。

■新生児特別給付金

（総事業費：6,811万6千円）【健康づくり課】

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、新生児の保護者が安心して育児できるよう、新生児を養育する保護者に対し給付。

【対象】

令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれ、本市の住民基本台帳に登録されている新生児の保護者

【給付額】

新生児一人につき10万円（1回限り）

■観光応援クーポン発行事業補助金

（総事業費：3,896万7千円）【商工観光課】

市内観光事業者（宿泊施設や飲食店など）を応援するため、糸島市観光協会が実施する事業に対し補助金を交付。

【対象】

宿泊施設への宿泊者（1人1回につき1冊をチェックイン時に配布）

【クーポン概要】

- ◎観光事業所で利用できるクーポン（1冊5,000円）を7,000冊発行（※3,000円は宿泊施設で、2,000円は飲食店等登録店舗で利用可）
- ◎利用期間は、令和2年10月中旬から令和3年2月末まで

■姫島公衆無線LAN整備

（総事業費：3,103万円）【秘書広報課】

ブロードバンド未整備地域である姫島に公衆無線LANを整備。これにより、WEB会議や大容量のデータ通信が可能となる。

【事業内容】

- ◎姫島の拠点2か所（姫島小、はまゆう）に専用パラボラアンテナを設置し、無線で本土と通信を行う。
- ◎アンテナを設置した施設内及びアンテナ周辺（半径20m程度）で無線LANが利用可能となる。
- ◎また、アンテナ子機を島の広場に設置し、周辺での無線LAN利用を可能とする。

2 市役所の新庁舎建設 基本設計が完成！

現在の庁舎本館は昭和45年に建築されており、今年で築50年になる。施設の老朽化が進んでおり、災害時の防災拠点機能や多様化する市民ニーズへの対応などにも多くの課題を残している。これらの課題に対応するため、新庁舎を建設することとした。

建設にあたっては、『糸島市新庁舎建設計画』を策定し、同計画に定めた方針のもと、新庁舎建設の基本設計書を策定。

■新庁舎のコンセプトは『まちづくりを創造する庁舎』

利用頻度が高い窓口の低層階への集約や、高い耐震性・安全性を備えた防災拠点としての機能、再生可能エネルギーを活用した地球環境への配慮など、6つの柱を掲げ、利用者にとってより便利で、より安全・安心で、開かれた庁舎の建設を目指す。

【6つの柱】

- ◎みんなが分かりやすく利用しやすい庁舎
- ◎安全・安心を支える防災拠点としての庁舎
- ◎自然エネルギーを取り入れた環境にやさしい庁舎
- ◎気軽に市民が集い情報を受発信する庁舎
- ◎将来の行政需要に柔軟に対応できる庁舎
- ◎情報セキュリティ機能に優れた庁舎

<設計概要>

- 敷地面積：8,000㎡程度
- 建築面積：3,200㎡程度（延床面積：11,800㎡程度）
- 構造：RC造（免震）
- 階数：地上6階建て

